

DPC 臨床指標 集計条件について

<共通項目>

- ・対象期間：令和4年度分（令和4年4月1日～令和5年3月31日）。
- ・患者数：一連の入院を1患者としてカウント。
10未満の数値の場合は「-(ハイフン)」で示し、関連する項目も同様。
- ・在院日数：入院日から退院日までの日数。
※令和4年4月1日に入院し、同年4月2日に退院した患者は2日。
- ・年齢：入院日時点の満年齢。

<個別項目>

1) 年齢階級別退院患者数

- ・一般病棟の年齢階級別(10歳刻み)の患者数。
- ・年齢階級は90歳以上を1つの階級として設定。

2) 診断群別患者数等（診療科別患者数上位5位まで）

- ・各診療科別に患者数の多いDPC14桁分類についてDPCコード、名称、患者数、自院の平均在院日数、全国の平均在院日数、転院率、平均年齢、患者用パス（任意）、解説を掲載。
- ・一般病棟の中における転科及び複数科で診療を行った場合は、医療資源を最も投入した傷病の診療を担当した医師が所属する科を、主たる診療科とする。
- ・「転院」については、退院先が「他の病院・診療所への転院」の患者をカウントし、転院患者数/全退院数を転院率とする。
- ・公開する場合は、患者数10件以上の順位のものはずべて公開するものとし、4位を公開せず5位を公開する、といったことは認められない。
- ・患者数が10件未満のDPCコードは、「DPCコード」「DPC名称」「平均在院日数（全国）」を入力し、それ以外の項目は「-」を表示する。
- ・患者数上位5位までのDPCコードの患者数がいずれも10件未満の診療科は、その診療科の表の掲載自体が不要。

3) 初発の5大癌のUICC病期分類別ならびに再発患者数

- ・5大癌(胃がん、大腸がん、乳がん、肺がん、肝がん)について初発患者はUICCのTNMから示される病期分類による患者数を、再発患者(再発部位によらない)は期間内の患者数とする。
- ・患者数は延患者数とする。
- ・各癌それぞれについて、Stageの判定にはUICC病期分類第7版又は第8版を使用。
- ・TNM分類が不正確で病期(Stage)が不明な場合は、「不明」としてカウント。
- ・Stageが「0」のものは集計対象外。

4) 成人市中肺炎の重症度別患者数等

- ・成人の市中肺炎について、重症度別に患者数、平均在院日数、平均年齢を掲載。
- ・入院のきっかけとなった傷病名および医療資源を最も投入した傷病名が肺炎(ICD10コードが J13~J18\$で始まるもの)の患者さんを対象。
- ・重症度分類は A-DROP スコアを用い、軽症~超重症の4段階で表記し、重症度分類の各因子が一つでも不明な場合は、「不明」と分類。

※A-DROP スコアとは

Age(年齢)	男性 70 歳以上、女性 75 歳以上
Dehydration(脱水)	BUN21mg/dL 以上または脱水あり
Respiration(呼吸)	SpO2≤90%(PaO2 60Torr 以下)
Orientation(意識障害)	意識障害あり
Pressure(収縮期血圧)	収縮期血圧 90mmHg 以下

5 点満点で、1 項目該当すれば 1 点、2 項目該当すれば 2 点

軽 症：0 点の場合。

中等症：1~2 点の場合。

重 症：3 点の場合。

超重症：4~5 点の場合。ただし、ショックがあれば 1 項目のみでも超重症。

不 明：重症度分類の各因子が 1 つでも不明な場合。

5) 脳梗塞の ICD10 別患者数

- ・脳梗塞の患者数、平均在院日数、平均年齢、転院率を掲載。
- ・医療資源を最も投入した傷病の ICD10 が I63\$である症例を集計。
- ・「転院」については、退院先が「他の病院・診療所への転院」の患者をカウントし、転院患者数/全退院数を転院率とする。

6) 診療科別主要手術別患者数等（診療科別症例数上位 5 位まで）

- ・診療科別に手術件数の多い順に 5 術式について、患者数、術前日数、術後日数、転院率、平均年齢および患者用パス（任意）を掲載。
- ・同一手術において複数の手術手技を行った場合は、主たるもののみをカウント。
- ・輸血関連(K920\$)、創傷処理、皮膚切開術、非観血的整復術、徒手整復術、軽微な手術およびすべての加算は対象外。
- ・術前日数は開始日(入院日)から主たる手術の手術前日までの日数。
- ・術後日数は主たる手術の手術翌日から退院日までの日数。
- ・「転院」については、退院先が「他の病院・診療所への転院」の患者をカウントし、転院患者数/全退院数を転院率とする。
- ・公開する場合は、患者数 10 件以上の順位のものすべて公開するものとし、4 位を

公開せず 5 位を公開する、といったことは認められない。

- ・患者数が 10 件未満の K コードは、「K コード」「名称」を入力し、それ以外の項目は「-」を表示する。
- ・患者数上位 5 位までの K コードの患者数がいずれも 10 件未満の診療科は、その診療科の表の掲載自体が不要。

7) その他 (DIC、敗血症、その他の真菌性および手術・術後の合併症の発生率)

- ・医療資源を最も投入した傷病名が播腫性血管内凝固症候群、敗血症、その他の真菌感染症、手術・処置等の合併症について、全退院患者数に対する発生率を掲載。
- ・入院のきっかけとなった病名と、最も医療資源を投入した傷病名が同一かどうかを区別して症例数をカウント。